

栃木県立矢板東高等学校 リベラルアーツ同好会 チームあさぼらけ

高校生ボランティア・アワード2022

フードバンク、ボランティア活動

私たちは、フードバンク活動を主軸とした様々な活動を行っています。現在は校内で定期的にフードバンク活動を行いたいと思い、計画し、実施しています。本校は中高一貫校であることから、高校生のみならず中学生にもこの活動を知ってもらうことで、より多くの方に活動を認知してもらい、さらなる支援の輪を広げたいと思っています。

私たちは様々な団体へのインタビューやボランティア活動を行い、実際にその活動に携わっている方々の話を伺ったり、交流を持ったりすることでより意義のある活動ができるよう努めています。昨年度から発足した活動団体ですが、高根沢と大田原にあるフードバンクやフードドライブへのインタビュー、地球・思いやりマルシェでのボランティア、フェアトレードショップへの取材などを行ってきました。また、スポゴミ大会(指定されたエリアを歩きながらゴミを拾い、種類ごとの量などから得点を競う活動)への参加の経験から、学校を舞台とした楽しめるゴミ拾い活動の実施を検討しており、自分たちでできる社会貢献の在り方を模索しています。



スポGOMI大会in鹿沼

「栃木県から海ごみなくそう」「ゴミ拾いはスポーツだ」をテーマに開催された大会海なし県ではあるが、私たちの地域のゴミが海に流れついてしまうことを改めて実感しました。



地球・思いやりマルシェボランティア



フードバンクへの訪問



フェアトレードショップへの訪問

知って、伝えて、広げよう

私たちの活動のキャッチコピーは、

「知って、伝えて、広げよう」です。

フェアトレード店でのインタビューを通して、私たちが想像していた以上にフェアトレードという言葉を知らない人がいること、そして知らないということは、フェアトレードという活動に関わることができないのだということを実感しました。

このことを通して、私たちは現在の様々な問題を知ってもらうことをきっかけとして広げることができればとの思いで、このキャッチコピーで活動しています。また、これらの目的は、第一に自分たちの活動によって、今現在の環境問題、貧困問題などの状況を知ってもらうことです。

また、自分たちの活動によって少しの力であってもその問題を解決していく手助けをすることも目標としています。

構想から実践へ 物事を自分事として捉える

チームを結成したばかりのときは、「〇〇してみたいよね」などと話していましたが、なかなか行動に移すことができずにいました。しかしこのままではいけないと思立ち、高校1年生の夏頃から本格的に活動を開始しました。そして今年度、チーム結成当初から実施したいと考えていた校内でのフードバンクを行うところまでたどり着くことができました。このように私たちは「〇〇したい」と構想を練るだけでなく、実際に行動に移しながらよりよい活動になるよう試行錯誤しています。

印象に残った活動

・「地球・思いやりマルシェ」への参加
活動を行った宇都宮の「もみじ通り」はエリアリノベーションに成功した地域であり、「ここでしかできない生活」を地域資源を活用して実践していました。宇都宮市内の大通りからやや外れた地域ですが、当日は多くの客が訪れており、賑わいがありました。商店街の衰退や空き家問題が多く自治体で見られるようになっていますが、自分たちの生活地域について真剣に考え、行動している人たちを見て、物事を自分事として捉えることの大切さを学びました。

主な活動分野: 環境問題、貧困問題



活動の詳細(実施内容/成果・実績など)

- ・栃木県内で行われているフードバンク、フードドライブへの訪問およびインタビュー
- ・地球・思いやりマルシェへのボランティア活動およびインタビュー(秋・春の2度参加)
- ・県内フェアトレードショップへの訪問およびインタビュー
- ・スポGOMI大会in栃木参加
- ・大学生による中高生のためのSDGs/サステナビリティアワード2021への動画投稿
- ・動画作成テーマ「SDGsを考え行動し発信する」コンテストファイナリストに選出される。
- ・校内フードバンクの実施



第1回目のフードバンク実施の様子



フードバンク

～おはよう🌞眠っている食品達～

日時:
場所:昇降口中央付近
集めるもの:
①賞味期限が2ヶ月以上あるもの
②常温保存できるもの

- 例
- ・お米、乾麺など主食になるもの
 - ・レトルト食品
 - ・飲料
 - ・インスタント食品
 - ・調味料各種(砂糖・塩など)
 - ・缶詰

フードバンクって...??

企業や家庭においてまだ賞味期限は余裕けれど、様々な理由により捨ててしまう食べ物を寄付していただき、その食品を困窮者や高齢者が少なく、生活に困っている人へ寄付・提供するための助けとなります。

ご協力をお願いします!!
リベラルアーツ同好会 チームあさぼらけ

「知っている」をみんなへ

「日本は楽観的すぎる」。SDGsアクションプランはこのことを一つの課題としています。日本はSDGsが掲げている目標に対する関心度が低く、特に新型コロナウイルス感染症が広まる前は顕著で、関心度は日本全体でもわずか三割程度でした。もっと大勢の人が物事を自分事として捉え、早急に確実に手を打たなければ抱えている課題は解決しません。

そのため、私たちはこれまでの活動を通して学んだことや感じたことを、多くの方に知ってもらうために、自分たちで活動して広げることを行っています。

ボランティアを行った際に、フェアトレード活動を行っている方から「調べようにも、それ自体を知らなければ調べられない。」と聞きました。この言葉がとても印象的で、知識を持つ者の働きかけがいかに重要であるかということを感じさせられました。

ある人は、1%の富裕層の所得が下から数えて69億人までの人々の所得の2倍であること、そして世界の資源が2030～2040年までしか持たないという予測があることを知らないかもしれません。知らないから、伝えられないから、楽観的になってしまうのではないのでしょうか。

このような思いから、「知って、伝えて、広げよう」を私たちの活動のスローガンとしました。

コロナ禍のため、制限のある生活が余儀なくされてしまい、人と人との関わりを根幹とする地域の行事や集まりが中止となりました。そのような中で、高校生である私たちが、地域のために何かできないかと思い、様々な活動を模索しています。引き続き今後も、SDGsを掲げるマルシェへの参加、スポゴミ大会への参加、そして今一番力を入れているフードバンクの活動などを通して、地域社会に貢献していきたいと考えています。人を支える手段や助けてもらう手段を知りながら、多くの人に「知ってもらう」活動を、学校だけにとどまらず、より活動の幅を広げ、支援の輪を広げていきたいと考えています。



プロフィール

矢板東高校2年生6人により構成されたリベラルアーツ同好会の公民班。全員が中学生時代からの付き合いで、仲の良さはピカイチ！一人一人が個性が輝く素晴らしいチームです。顧問の坂本先生のご指導の下、不慣れながらもたくさんのことに挑戦しています。

チーム名の『あさぼらけ』には、貧困や環境などの問題を私たちの手で少しでも明るい方へ...という意味が込められています。

メンバーは左から
今井勇喜(いまいゆうき)
植木猛至(うえきたけし)
池亀晋作(いけかめしんさく)
大串絵莉香(おおくしえりか)
山田美月(やまだみつき)
根岸叶羽(ねぎしかの)
このメンバーで今後も引き続き皆さんのことにチャレンジしていきたいと思っております!